

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率で見る学力の現状

調査実施日 令和3年5月27日（木）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

実施学年及び 各教科平均正答率（％）		小学校（第6学年）		中学校（第3学年）		
		国語	算数	国語	数学	英語
福生市	R3	55	64	62	53	
	H31（R1）	58	65	73	57	57
東京都（公立）	R3	68	74	67	60	
	H31（R1）	65	70	74	62	59
全国（公立）	R3	64.7	70.2	64.6	57.2	
	H31（R1）	63.8	66.6	72.8	59.0	56.0

福生市と全国の平均正答率の差を見ると、小学校第6学年に比べ、中学校第3学年は縮小傾向にあります。この傾向は、令和3年度だけでなく、平成31年度も同様でした。

全国平均正答率との差	小学校（第6学年）		中学校（第3学年）	
	国語	算数	国語	数学
R3	-9.7	-6.2	-2.6	-4.2
H31（R1）	-5.8	-1.6	0.2	-2.0

調査結果を踏まえた、組織的な授業改善を目指して

「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱い及び調査結果の活用について」（令和3年8月31日付け3文科教第556号）の通知文の中で、「3 学校における改善に向けた取組の推進」についての具体例が以下のように示されています。

- 調査結果の分析・検証の結果を踏まえ、指導計画等に適切に反映させるなど、教育指導等の改善に向けて計画的に取り組むこと。
- 調査対象の学年や教科だけではなく、全学年、全教科等を対象として、学校の教育活動全体を見渡した幅広い観点から取り組むべき課題や、その改善に向けた取組について検証すること。
- 課題の見られた点を中心に、教職員の指導力の向上、指導内容や指導方法等の改善を図るため、校内研修等を適切に実施すること。
- 保護者や地域等の理解と協力の下に十分に連携をとりながら、家庭における学習習慣や生活習慣等の改善に向けた取組を行うこと。等

各学校において、教職員全員で各校の調査結果・分析を共有するとともに、本調査結果・分析内容についても十分に参考にしながら、組織的な授業改善に取り組むことが重要です。

授業改善のための資料として、国立教育政策研究所「令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた 授業アイデア例」も参照してください。右の二次元コードから見るができます。



小学校



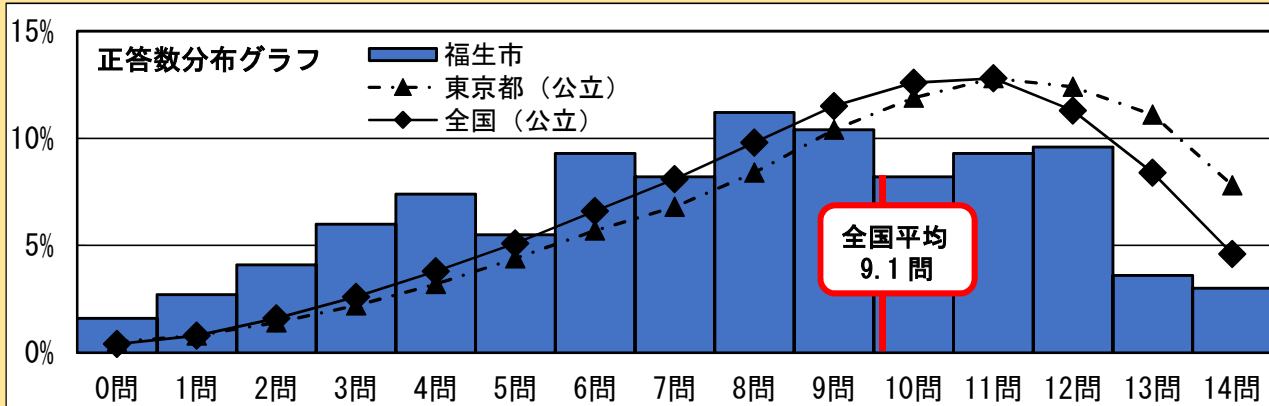
中学校

福生市教育委員会
令和3年12月

各教科の調査結果詳細

小学校国語

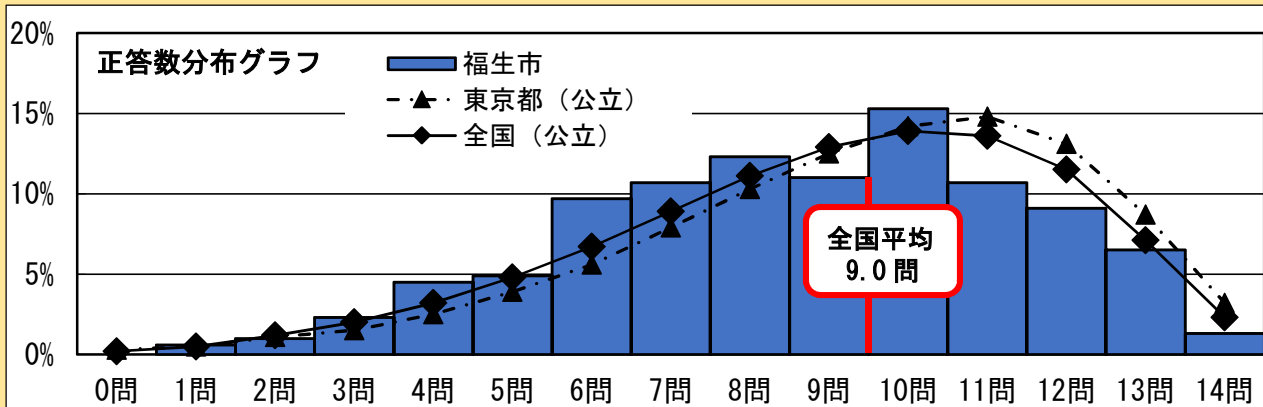
- 目的に応じ、話の内容が明確になるように構成を考えることに成果が見られた。
- ▲ 目的や意図に応じて、理由を明確にしながらか自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、漢字を文の中で正しく使ったりすることに課題が見られた。



観点等	設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		福生市	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	6	56.3	69.9	68.3
思考・判断・表現	8	53.9	66.4	62.1
主体的に学習に取り組む態度	0	—	—	—
話すこと・聞くこと	3	71.4	81.8	77.8
書くこと	2	48.5	62.7	60.7
読むこと	3	40.0	53.5	47.2

中学校国語

- 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることに成果が見られた。
- ▲ 文脈の中における語句の意味を理解したり、相手や場に応じて敬語を適切に使ったりすることに課題が見られた。



観点等	設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		福生市	東京都 (公立)	全国 (公立)
国語への関心・意欲・態度	4	56.1	59.2	56.0
話す・聞く能力	3	81.3	81.9	79.8
書く能力	3	55.5	59.7	57.1
読む能力	4	43.8	52.5	48.5
言語についての知識・理解・技能	4	70.0	76.1	75.1

課題が見られた問題【小学校国語】

3 三（1）学習した漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

平均正答率（無解答率）			
	ア	ウ	エ
福生市	67.8% (19.7%)	35.5% (32.0%)	62.6% (18.3%)
東京都	79.4% (10.8%)	57.0% (17.3%)	77.5% (8.7%)
全国	78.3% (8.8%)	54.4% (14.4%)	79.0% (6.6%)

(正答) ア 転
ウ 積
エ 原因

誤答例

ア 軽、輪
ウ 重、罪、績
エ 現因、源因、原因

(1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていて、た—部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。
—部ア、ウ、エを漢字でいいいに書きましよう。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがついているのを見かけたことはありませんか。「中略」また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくなてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

3
三

Point

漢字の学習指導に当たっては、日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようにすることが大切です。新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるように練習方法を工夫する必要があります。

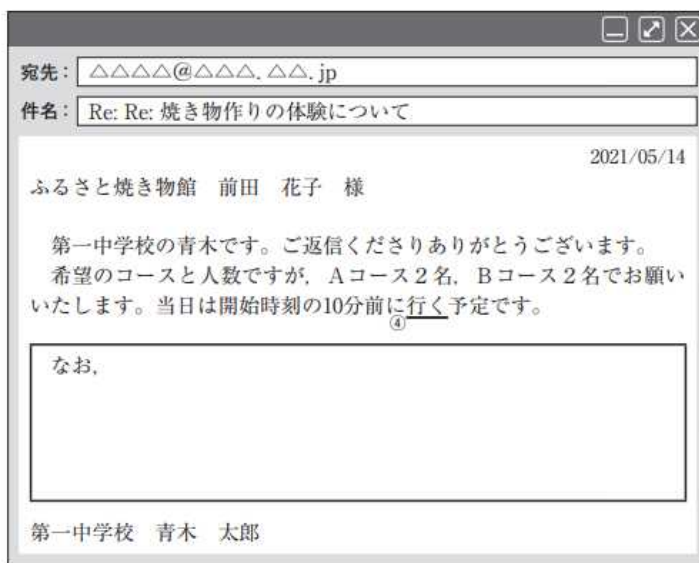
課題が見られた問題【中学校国語】

4 三 相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

平均正答率	
福生市	28.2%
東京都	39.1%
全国	40.3%

誤答例

- ・伺う－1
- ・参る－3
- ・向かう－2
- ・訪ねる－2
- ・いらっしゃる－1
- ・行かれる－1



青木さんが送信する【二回目のメールの下書き】

- 三 —線部④「行く」とありますが、「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を次の1から3までの中から一つ選びなさい。
- 1 尊敬語
 - 2 謙譲語
 - 3 丁寧語

4 総合的な学習の時間で、地元の伝統工芸である「焼き物」について調べている青木さんのグループは、「ふるさと焼き物館」で焼き物作りの体験をしたいと考え、担当者とメールのやりとりをしています。次は、「中略」青木さんが送信する【二回目のメールの下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(正答例) ・伺う－2 ・参る－2 ・ご訪問する－2 ・お訪ねする－2

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。

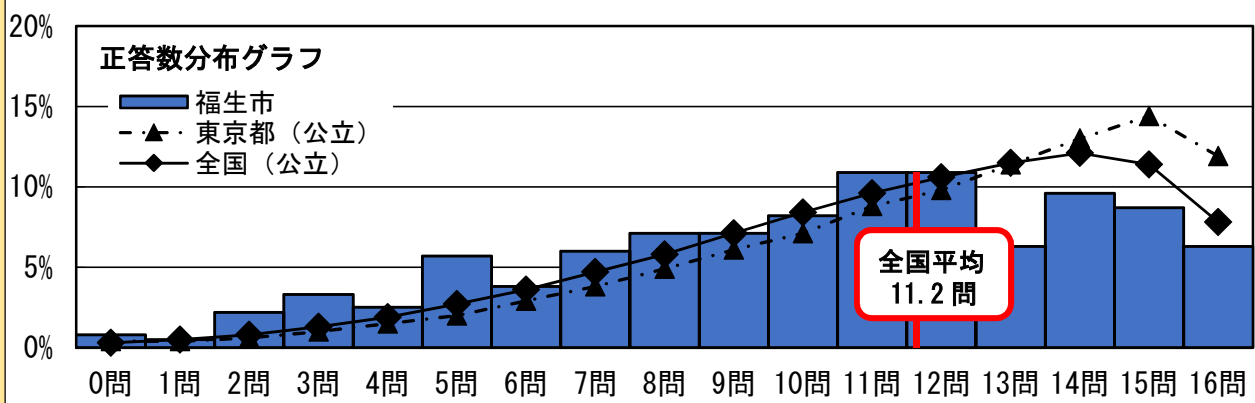
- ① 以下の a、b のいずれかを書いている。
 - a 「伺う」、「参る」。
 - b 「ご訪問する」、「お訪ねする」など、状況に合う a 以外の言葉。
- ② 敬語の種類として2を選んでいる。

Point

言葉遣いについては、小学校での学習を踏まえ、敬語を含め広く相手や場に応じた言葉遣い全般について指導する必要があります。その際、公的な場面で改まった言葉遣いをするもののほか、会話をしたり手紙を書いたりする際に相手に応じた語句を選んで用いることなどにも留意するように指導することが大切です。

小学校算数

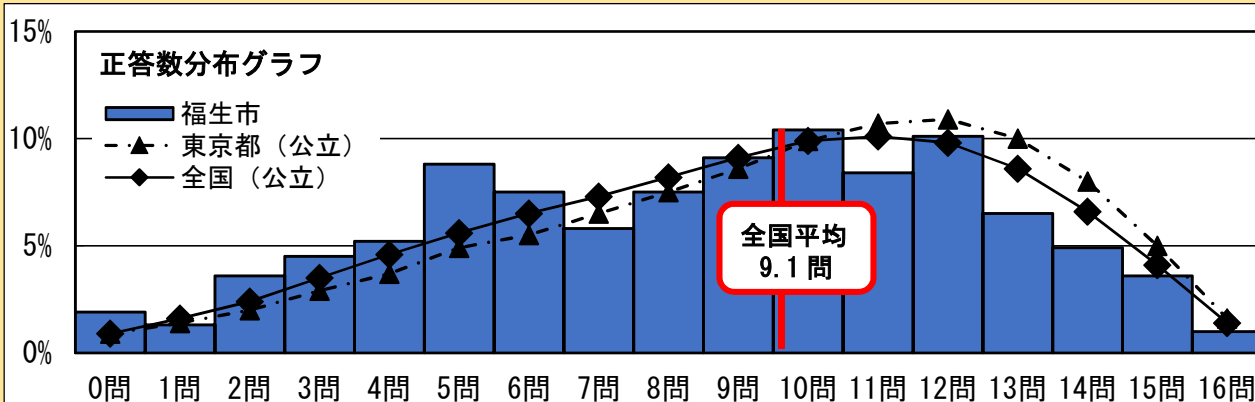
- 棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることに成果が見られた。
- ▲ 図形の面積の求め方と答えを記述することや、数量の関係を捉え、正しく立式したり、理由を説明したりすることに課題が見られた。



観点等	設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		福生市	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	9	69.2	78.0	74.1
思考・判断・表現	7	56.6	68.3	65.1
主体的に学習に取り組む態度	0	—	—	—
A 数と計算	4	54.0	65.4	63.1
B 図形	3	48.5	63.7	57.9
C 測定	3	69.3	77.7	74.8
C 変化と関係	3	70.7	79.8	75.9
D データの活用	5	72.2	79.5	76.0

中学校数学

- 四角形が平行四辺形になること理由を説明することに成果が見られた。
- ▲ 具体的な場面で、一元一次方程式をつくったり、与えられたデータから中央値を求めたりすることに課題が見られた。

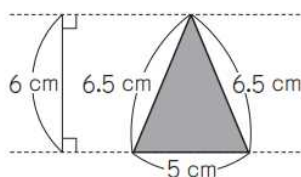


観点等	設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		福生市	東京都 (公立)	全国 (公立)
数学への関心・意欲・態度	0	—	—	—
数学的な見方や考え方	7	39.6	44.6	41.1
数学的な技能	3	68.5	79.6	77.7
数量や図形などについての知識・理解	6	61.7	68.1	65.6
数と式	5	59.9	68.5	64.9
図形	4	48.9	56.0	51.4
関数	3	54.3	58.1	56.4
資料の活用	4	48.9	54.7	53.8

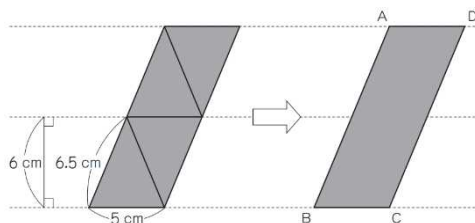
課題が見られた問題【小学校算数】

2 (3) 図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いることに課題がある。

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDを作りました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。また、平行四辺形ABCDの面積が何cm²になるのかも書きましょう。

(正答例)

【求め方】 辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、12 cmです。平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60 cm²です。

【平行四辺形ABCDの面積】 60 (cm²)

平均正答率

福生市 32.0% 東京都 51.3% 全国 46.0%

誤答例

【求め方】 $5 \times 6 \times 6.5 = 195$

【平行四辺形ABCDの面積】 195 (cm²)

Point

面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることが大切です。

課題が見られた問題【中学校数学】

2 具体的な場面で、一元一次方程式をつくることに課題がある。

2 ノート2冊と800円の筆箱1個を買ったときの代金と、ノート4冊と500円のシャープペンシル1本を買ったときの代金は等しくなります。

ノート1冊の値段を求めるために、ノート1冊の値段をx円として、方程式をつくりなさい。ただし、つくった方程式を解く必要はありません。

(正答)

$$2x + 800 = 4x + 500$$

又は

$$y = 2x + 800$$

$$y = 4x + 500 \text{ と解答しているもの}$$

平均正答率

福生市 62.0% 東京都 74.4% 全国 71.3%

誤答例 (反応率: 福生 8.4% 全国 5.4%)

正答以外の一元一次方程式を解答しているもの

Point

具体的な問題を方程式を活用して解決する際に、問題の中にある数量やその関係を捉え、等しい数量関係に着目して方程式をつくり、それを解き、求めた解を問題に則して解釈し、問題の答えを求めるといった一連の活動を経験することにより、方程式を活用することのよさを実感できるようにすることが大切です。

5 データの特徴を捉えるために、代表値を求めることに課題がある。

5 下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

(単位: 回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

(正答) 54

(解説) データの数が偶数である場合には、データの中央にある二つのデータの平均値を計算する。

平均正答率

福生市 74.4%

東京都 84.1%

全国 84.5%

誤答例 (反応率: 福生 13.3% 全国 7.8%)

53 又は 55 と解答しているもの

Point

データの特徴を捉えるために、目的に応じてデータ全体を表す指標としてふさわしい代表値を選択し、それを的確に求める活動を取り入れることが考えられます。

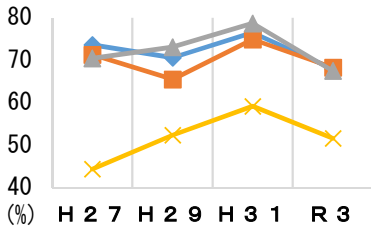
例えば、反復横とびの自分の記録が多い方なのか少ない方なのかを知りたいとき、中央値を用いればよいことを見通せるように指導します。

児童・生徒質問紙調査結果

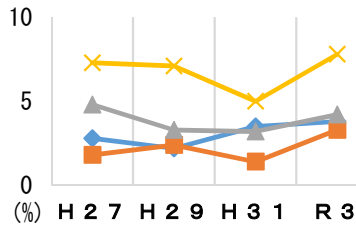
■ 無解答率に関する経年変化

■ 小：国語 ■ 小：算数 ■ 中：国語 ■ 中：数学

全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した



書く問題は全く解答しなかった

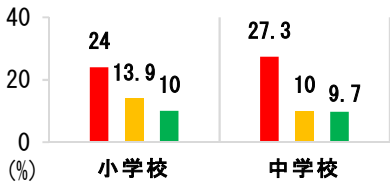


- 解答を文章や式などで書く国語、算数・数学の問題で、最後まで解答を書こうと努力した児童・生徒数は、前回調査から減少している。
- 書く問題における無解答の児童・生徒数も増加傾向にある。
- 児童・生徒の実態に応じて、文意や題意を読み取るための指導や、自分の考えを文章で表現する力を身に付けさせる指導をする必要がある。

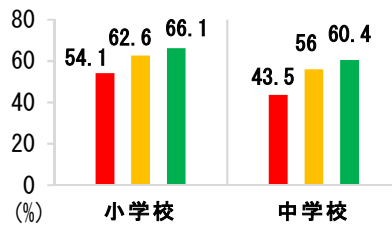
■ ICT機器の使用について

■ 福生市 ■ 東京都 ■ 全国 ※「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

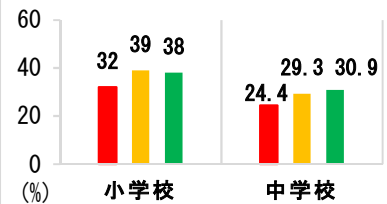
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。



学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



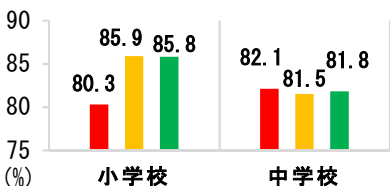
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



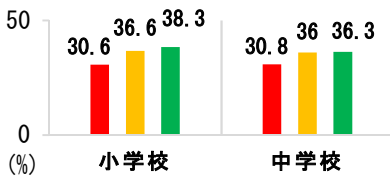
■ 家庭生活について

■ 福生市 ■ 東京都 ■ 全国 ※「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

朝食を毎日食べていますか



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

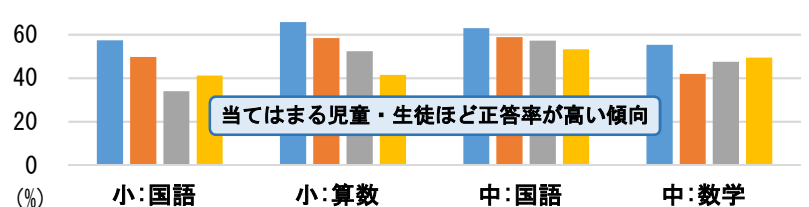


■ 家庭生活と学力の相関について

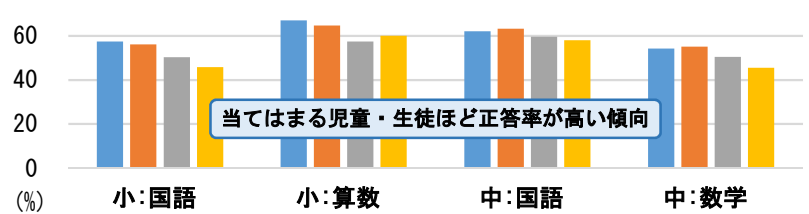
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

学力調査の平均正答率

「朝食を毎日食べていますか」の回答と平均正答率のクロス集計



「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の回答と平均正答率のクロス集計



- 各学校におけるICT機器の使用については、東京都や全国に比べ、進んでいる実態が明らかになった。その一方で、ICT機器の使用が児童・生徒にとって、勉強に役立っていると思えるような授業の展開や工夫が必要である。また、スマートフォン等の家庭における使い方についても課題が見られた。
- 朝食や起床時間等の望ましい家庭生活と学力には一定の相関が見られた。保護者会や面談等の場で、学習面においても家庭での生活習慣が大切であることを周知するなど、学校と家庭がより一層連携して指導に当たっていくことが重要である。